

平成24年 藤枝市議会2月定例会

総務消防委員会委員長報告書

(請願審査)

平成24年3月16日

[本 会 議]

総務消防委員会に付託されました、請第2号「浜岡原発の「永久停止・廃炉」を求める請願」について、審査の経過と結果について、主な発言を中心に御報告いたします。

最初に、一委員から、「これまで、藤枝市議会では、請願にあるように市民の命とくらしを守りたいという思いで、常に浜岡原子力発電所に対して、注意をおこたらないように努めてきており、昨年の12月16日に議決された「中部電力浜岡原子力発電所に関する決議」は、重大な決議であり、現在、将来にわたり、重大な決議であり続けると考える。」という意見がありました。

次に、一委員から、「浜岡原子力発電所1号機にトラブルが起きた平成13年以降から、議会として、中部電力、国及び県に対して、申し入れ等を行ってきており、絶えず市民の安心安全という目線を持って対応してきている。

東日本大震災以降においても、執行部と議会が連携して中部電力、国及び県に対して、適切な安全対策の実施、法整備の見直し等について、意見書、要望書等を提出してきている。議会としては、既に講ずべきことは講じ、議決すべきものは議決していると考え。」という意見がありました。

次に、一委員から、「平成23年6月には、新エネルギーへの政策転換という内容を盛り込んだ議会の意見書を政府及び国会に提出している。また、直近では2月2日に「原発に依存しないエネルギー政策への転換について」の要望書提出が県議長会で採択され、今後、国に提出される予定であり、議会としては、既に行動を起こしている。」という意見がありました。

次に、一委員から、「中部電力浜岡原子力発電所に関する決議では、「危機管理対策が万全になされ、そのことが、あらゆる角度から立証され、あわせて住民の合意を得ることが必要である。」として、「市民の安全と安心が担保されない限り施設の再稼働は認められない。」としている。この決議以降においても、議会として、浜岡原子力発電所の現場を視察し、安全対策等の確認も行っており、絶えず中部電力に関心を払い、必要に応じた対応をしてきている。」という意見がありました。

次に、一委員から、「中部電力浜岡原子力発電所に関する決議は、全議員の総意で決議したものであり、非常に重く受け止めている。平成13年以来、中部電力、国及び県に対し、意見書や申し入れ等を行い、東日本大震災後も同様に行ってきており、議会では、絶えず行動を起こしている。現在、そして将来の市民の安心安全を願う気持ちはひとつである。そのような考えに立ち、改めて議会の全員一致でなされた決議の重さを考えると、本請願は採択しなくてよいと考える。」という意見がありました。

以上のような審査を経て、採決の結果、全会一致で、本請願は不採択とすべきものと決定いたしました。

以上、御報告いたします。